

2/20

大阪城公園の東部エリアの再開発 の目玉、大阪公立大学の森之宮 キャンパスが9月に開設します。

まだ寒い2月20日、大阪市議員視察団で開設を控えた新キャンパスを見学してきました。大阪市の中心地でありながら、緑豊かな大阪城公園を眺望できる素晴らしいキャンパスが完成していました。多様な人々が交流できる開かれた大学として今後の発展を期待します。



2/23

中途失聴・難聴者のための 元気の出る集い総会に 参加させていただきました。

ずっと相談をうけていた大阪市身体障害者団体協議会への加盟が実現しました。



2/25

増える要保護児童に対応するため 大阪市中心子ども相談センターが 移転・業務開始。

移転先の浪速区の新しい施設を視察させていただきました。予算委員会では、要保護児童対策協議会について、里親支援センターについて質疑させていただきました。
(見開きページ3月議会質疑報告参照)



3/20

2/6 大阪市消防指令センター視察 大阪市生野消防署 中川出張所新庁舎がOPEN！

大阪市消防局は、松原市消防本部との消防指令業務の共同運用を4月1日から開始しました。新たな消防情報システムを備えた「大阪市・松原市消防指令センター」が完成し、内覧会に行ってきました。最新のICT技術を導入し、更なる機能強化が図られるということです。また生野消防署中川出張所が現在の新今里5丁目から中川2-9-27に移転。大阪市生野消防署中川出張所のお披露目会に行ってきました。新庁舎は女性隊員も働きやすい環境が整っていました。



3/23

大阪ヘルスケアパビリオンの 開館式があり、 内覧会に参加しました。

大阪ヘルスパビリオンだけでもじっくりみてまわると半日はかかります。iPS細胞をテーマとした展示、25年後の自分に会える(老いた自分の姿にがっくり)リボーン体験、空を飛ぶ体験もさせていただきました。



4/12

大阪・関西万博がとうとう開幕。 開会式に出席しました。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに様々なパビリオンが立ち並びます。まだ完成していないパビリオンもあり、万全を期してとは言えない状況での開幕となりました。10月の閉幕までの半年間、安全に開催運営されるよう願っています。



生野のために
ありったけの
チカラで

顔が見えるまちづくりですべてのひとに出番と居場所を!!

2025年 vol.66

大阪市議員

武なおき プロフィール

1972年(昭和47年)12月26日生。同志社大学大学院社会福祉学専攻博士課程(前期)修了。生野区社会福祉協議会でソーシャルワーカーとして7年間、多くの課題と向き合う。29歳で2児のシングルファザーに。36歳で再婚。3人目の子育てと義母の介護員中。当事者だからこそ気付けることがあります。「声にならない声」を届けたいと挑んだ選挙は2度落選。落選の度に応援してくださる人が増え心が震えました。現在4期目。一期一会をつなぎます。

武なおき
HPは
こちら

たけ

ケアマネジャー・社会福祉士

武なおき

市政
報告

武直樹市民協働事務所

mail: take@take-naoki.com

〒544-0015大阪生野区箕面1-2-3 (6月末まで)

〒544-0003大阪生野区小路東1-16-27 (7月～)

☎06-6753-6714

問
ひ
は
先

5月 議会 報告

議会質疑はライブ視聴、
録画視聴ができます

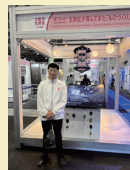
大阪市会 中継

検索



5月9・10日 「大阪ウィーク～春の陣～」

勝五地車保存会の皆さんと一緒に参加させていただきました。大阪府下約40台のだんじり・やぐら・太鼓台等が順番に展示、舞台、曳行でフィナーレまで一緒に盛り上がりました。EXPOメッセでは、大阪43市町村の大阪が誇る食や観光に加え、歴史・伝統文化、産業・技術、アート・カルチャー等の参加・体験型イベントも開催。「みなはれゾーン」では、大阪市生野区の7つの企業と工場が共同で制作した金属製提灯「提ZINE」が展示されました。「大阪ウィーク～夏の陣～」には「生野区体育厚生協会民謡部」が出演する予定です。

大阪ウィーク
公式サイト

大阪ウィーク公式サイト「大阪ウィーク」

■5.9～5.18 (春) ■7.24～8.3 (夏) ■9.5～9.17 (秋)

注目！ 大阪市内の子どもは無料！ 万博夏パスご案内

大阪市では夏休み期間中(7月19日～8月31日)に何度でも万博会場に入場できるチケット(夏パス)を子どもたちにプレゼントしています。夏休み前までに忘れず申し込んでください。

対 象 申込時点で市内在住かつ
令和7年4/1時点で4～17歳の子ども
申込期限 送付：8/18(消印有効) オンライン：8/20
問合せ先 大阪府万博子ども招待コールセンター
☎06-7526-3090 fax06-7526-3091
(受付時間：平日9:00～18:00)

特設サイトはこちら



お知らせ

事務所が移転します！

平成23年から箕面に事務所を構えて議員活動をしてまいりましたが、この度、事務所を移転します。今後とも生野のためにありったけのチカラで取り組んでまいりますので引き続きよろしくお願いいたします。

[7月からの新住所]

544-0003 大阪市生野区小路東1-16-27
電話番号同じ 06-6753-6714

介護保険料負担軽減プロジェクトチームが 厚生労働大臣に要望書を提出。

2月19日、介護保険料負担軽減プロジェクトチーム(佐々木哲夫議員座長)として福岡厚生労働大臣、副大臣に、日本一高い大阪市の介護保険料の引き下げ、介護職員、ケアマネジャーの処遇改善を求める要望書を提出してきました。要望書は、公明党、自民党・市民クラブ、自民党・市民とつながる・くらしが第一の3会派で作成しました。武直樹はプロジェクトチームのメンバーです。

要望書全文
はこちら

2月・3月議会質疑報告

暮らしと議会をつないでいます

議会質疑はライブ視聴、
録画視聴ができます

大阪市区 中継

検索



ありったけの
チカラで
生野のために



2/18

教育子ども委員会

生野区西部地域・学校再編整備計画について

生野区西部地域の学校再編計画によって閉校になる北鶴橋小学校と勝山小学校の跡地活用について、現状の課題と今後の進め方に関して確認しました。北鶴橋小学校は敷地の大半が借地なため、閉校後は更地にして借地部分を返還することになります。残る1400平方メートルの市有地部分については、地域の交流センターや分散する避難所の運営本部機能などを備えた施設の建設を要望する地元からの陳情書が採択されています。勝山小学校は建物が古いので解体して新しい地域拠点を建設する方針です。どちらの跡地についても、運営事業者の選定や整備スケジュール、新施設の機能・設計、暫定避難所の確保など、未確定なことが多く、地域住民の皆さんから心配の声が上がっています。地域住民と現状の課題を共有し、丁寧に協議しながら活用計画を進めていくよう要望しました。

これまでの学校跡地活用状況



2/13

大阪広域環境施設組合議会

焼却工場におけるピット火災について

2024年10月にごみ焼却施設の東淀工場においてピット火災が発生し、1週間ごみの搬入が停止しました。ピット火災は、大阪広域環境施設組合全体（大阪市、八尾市、松原市、守口市）で年間10～20件も起きています。スプレー缶やライター、電池など引火性のごみがピット内で爆発して一気に燃え広がると、自動消火装置など防災設備を備えていても、今回のように消火が間に合わず大きな事故に至る恐れがあります。私たちの暮らしにとって欠かすことのできないごみ処理施設の安全のためには、市民や事業者がごみの分別やリサイクルを徹底することがとても大切です。私たちひとりひとりの行動が暮らしの安全につながるということを、質疑により再認識しました。



ピット火災の様子
大阪広域環境施設組合HPより転載



引火性ゴミの出し方
大阪市HP

1/17 東大阪市役所、2/7 大阪助産師会に行ってきました。

産前産後ケアにおける助産師活用についての質疑に向けて、1月には実績のある東大阪市へ視察に行ってきました。2月には大阪助産師会にも産前産後ケアで助産師にしかできない役割課題についてヒアリングさせて頂き、3/10の委員会で質疑しました。



3/10 教育子ども委員会

生野区保健師と助産師の連携について

生野区では4月から妊婦教室や3ヵ月検診、乳児対象の子育て教室などで、助産師を大幅に拡充する予定です。乳児の発達を専門とする保健師とともに、助産師が母乳や育児の分野での専門性を生かした個別相談に応じることでより安心して子育てできる環境を整えます。保健師と助産師の連携を進め、事業を検証しながら区役所への助産師配置について引き続き模索していくよう要望しました。あわせて大阪市としても全区への助産師配置を検討するよう要望しました。

3/10

教育子ども委員会



横山市長に質疑



シングルマザーの居住支援について

ひとり親家庭自立支援促進計画の第5期策定にあたり、国土交通省の「セーフティネット住宅の家賃低廉化補助」を使って、ひとり親を対象にした家賃補助の検討を市長に提案しました（世田谷区や神戸市では実施中）。シングルマザーの85%は働いているにも拘らず困窮度が高く、固定費である家賃が大きな負担であることは令和5年度の大阪市の実態調査を見ても明らかです。ひとり親の居住支援について、市は市営住宅の優先選考枠を設けてきましたが、募集枠のある市営住宅は偏在していて、市営住宅がない区や募集がない区もあり、必ずしも支援が行き渡っているという状況ではありません。また、ひとり親支援については子ども青少年局、住宅については都市整備局と縦割りで、課題が共有できていません。市としてひとり親の居住についての課題分析に取り組むよう要望しました。

包括的な支援体制整備について

学校と区役所が連携して取り組む子どもサポートネット事業がより意義のある事業として機能するため、2点要望しました。①サポートネット事業の中心的役割を担うスクールソーシャルワーカーを本務職員として全校に配置すること（現在は会計年度任用職員）。②地域との連携の在り方について。子育て世帯の支援は、複雑化、複合的した課題を抱えており、支援者間の情報共有や連携により地域支援体制の構築が必要ですが、個人情報共有の難しさがあります。個人情報保護の在り方など、福祉局、子ども青少年局と地域福祉計画や包括的な支援体制の整備について、共通理解をもって取り組んでいくことを要望しました。

里親委託について

令和7年4月に市内4か所の里親支援センターが開設。大阪市区は、令和5年度末で19.9%の里親委託率を11年度に36.5%にするという高い目標を掲げています。現場での尽力にも拘らず、どの年齢層でも里親が足りていない状況の中、身近なところで社会的養護の子どもを応援する人たちを増やす取り組みが必要であり、里親支援センターと区役所との連携協力は不可欠です。加えて、里親に対する理解の裾野を広げるため社会的養護や里親に理解がある著名人とのコラボ啓発イベントの開催を提案しました。

学校司書の配置について

文部科学省が策定した「学校図書館 図書整備等5か年計画」に基づき、各自治体へ地方交付税が措置されています。当該年度の試算では5億5千万の措置額に対して、市の令和7年度の学校図書館活用推進事業の予算は3億8千万。まださらに40校に主幹学校司書の配置ができる計算です。基準財政需要額（各自治体にとって合理的妥当な水準）を満たしていません。子どもたちの充実した読書環境を整えることは、学力向上に加えて、豊かな感性と生きる力を育てる重要な施策です。十分な予算確保を行うよう要望しました。

マタニティウェアの回収及び展示提供について

環境事業センターや子育てプラザなど大阪市内7カ所で取り組まれているマタニティウェアとベビー服（他絵本なども）のリユース事業はとても有意義で市民からの人気も高い取り組み。しかし、環境事業センターの有無や、区によって実施内容にはばらつきがあり、青少年局や区役所としても、環境局と連携し、取り組みを広げてもらうよう要望しました。



東部環境事業センターの
マタニティウェアの展示日
程。1人につき2点まで。
この他に不定期で子育て
プラザでも開催